

第14巻 いまさら人に聞けないルール/マナー&エチケット

平成22年6月改訂

1、ティグラウンド



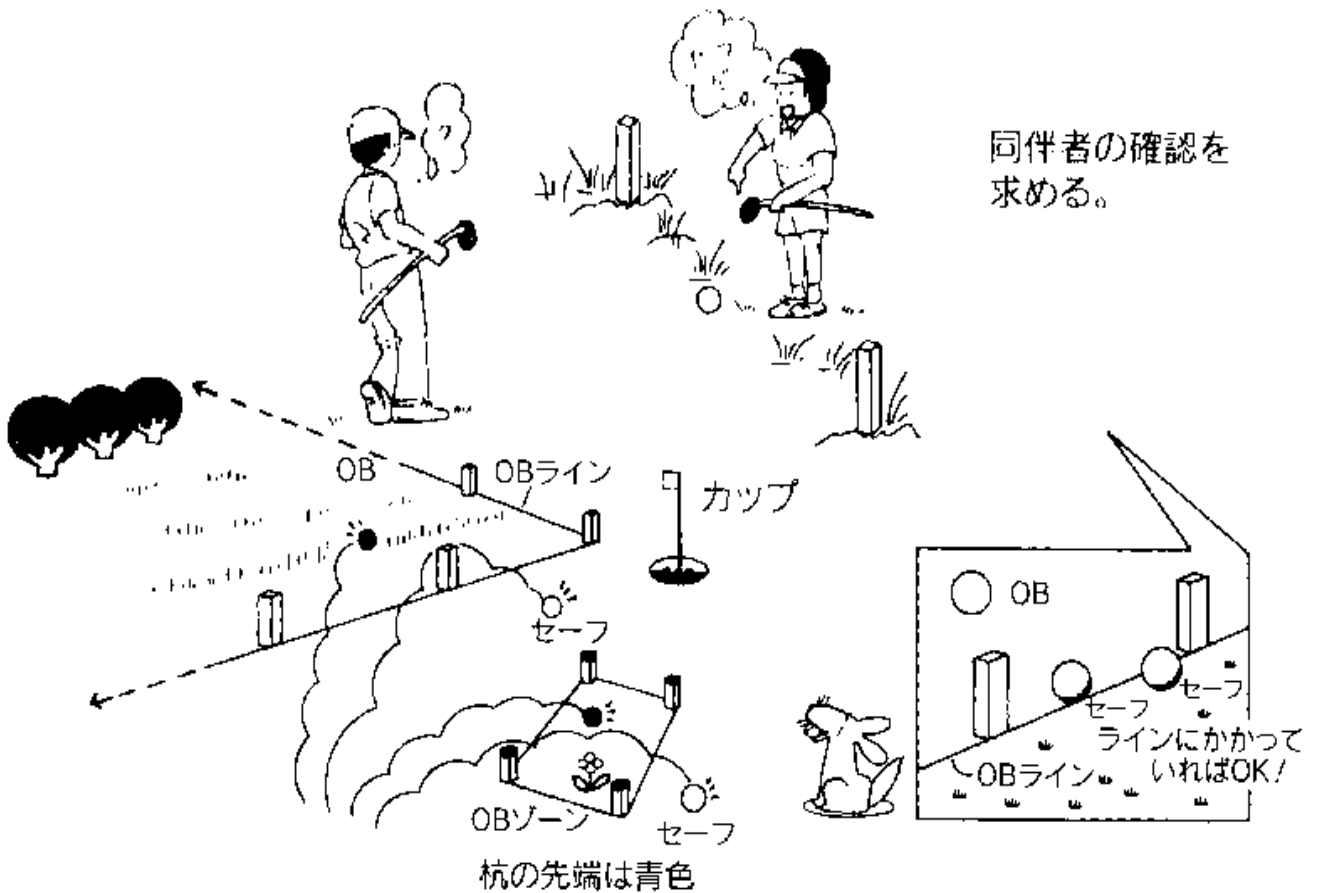
- ・ ティグラウンドでは必ずティを使いましょう。(未使用はペナルティ)
- ・ テイマークまたは、ティラインよりボールを目標方向に置いて打ってはいけません。
- ・ ティグラウンドから打ちティグラウンドマットから足が出てはいけません。もちろん、マットの外にアドレスして打ってはいけません。(平成22年より高い台の場合も、足がはみだしたらペナルティ)
- ・ 空振りしても、ボールに当たらずティより落ちなかった場合はノーペナで打ち直しができます。平成22年より、チョロをしても、ティグラウンド内にある場合は、ノーペナで打ち直しができます
- ・ チョロをして、ティグラウンドから出たボールは1打として扱い、次は2打目となります。
- ・ ティグラウンドで、アドレスをして、ボールに触れて落ちてでも無罰打です。(2打目以降、触れて動いた場合は1ストロークとなります)
- ・ ティグラウンドにプレイヤーが上がったら、回りの人は、「おしゃべり」をしたり、「大声」を出したりしてはいけません。
- ・ ティグラウンドにプレイヤーが上がったら同伴者は邪魔なところに立ってはいけません。(プレイヤーの背後に離れて立つのが望ましい)
- ・ ティのついているコースでは、打ち終わったティは元に戻しましょう。
- ・ 全員が打ち終わるまで、ティグラウンドより目標方向に勝手に歩いていくことはできません。全員打ち終わってから一緒にボール方向に歩きましょう。
- ・ 第1打目のマーク要求はできません。(第1打目をマークしたら、ペナルティがつきます)
- ・ 平成22年より、1打目の時は、本来あるべき位置のバンカーならし、ボールすくいは動かさない。
- ・ 前の組がホールアウトするまで原則として打ってはいけません。(ただし、ドックレグしていて、刻むホールや、絶対に届かないホールは例外です)

2、2打目以降

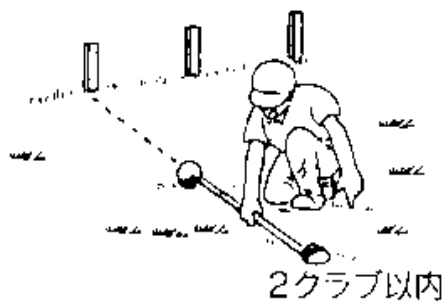
- ・ 2打目以降の打つ順番は、原則として遠い順番に打っていきます。
- ・ ボールは、マークの要求がない限りマークはできません。ただし、カップより2クラブ以内のボールは自主的に「マーク」あるいは「お先に」をすることができます。もちろん、そのまま置いておくことも出来ます(マークの要求がなかった場合)。(3者択一)
- ・ 樹木などの生長物や、動かさない障害物を動かしたり曲げたり折ったりしてはいけません。
- ・ 自分のボールの位置や周辺の改善をしてはいけません。(ライの改善となり2打付加)
- ・ 動かせる障害物(落ち葉、小石等)を取り除こうとしてボールが動いてもペナルティにはなりません。元の位置にボールを戻しプレイしてください。
- ・ アドレス中に風等でボールが動いてもペナルティにはなりません。止まった場所からプレイをします。(2打目以降)
- ・ 2打目以降のアドレス中にクラブにボールが触れて動いた場合は1ストロークとなります。次に打つ場合も、当然止まった場所から次打となります。
- ・ ボールのマークはカップとボールを結んで、ボールの真後ろにマークをします。
- ・ マークが邪魔になる場合、クラブヘッドを使ってその分マークをずらすことができます。
- ・ ボールがくっついている場合は、コース横等に目印になるものを見つけボールと結んで、**ボールの後ろにマーク**をします。
- ・ 自分のマーク位置以外から、相手のマークの場所から打った場合は2打付加となり、止まったボールの位置からプレイは再開されます。
- ・ ボールが自分に当たるのはもちろん、自分の持ち物も身体の一部ですので、自分のボールが当たった場合はペナルティ(2打付加)となります。
- ・ **ティグランドを間違えてプレイした場合は**、2005年ルール改正により**同伴者全員がプレイし、ペナルティ2を付加**するようになります。連続して間違った場合はその間違った数だけペナルティとなります。ペナルティを付加するコースは原則として間違ったコースではなく正規に戻ったコースに付加します。
- ・ 2005年より、ティグランドからプレイしたボールでそのホールをホールアウトすると、次のホールでボールを交換することができます。
- ・ カジュアルウォーターでの救済は、ボールが水の中に入っているか、スタンスが水の中かのいずれかになります。**2005年ルール改正により、遠くに見える水溜りの救済は受けられません**。また、水溜りの手前にボールが止まっても救済は受けられませんのでご注意ください。修理地での救済もカジュアルウォーターと同じです。ボールが修理地内にあるかスタンスが修理地にかかる場合のみです。
- ・ ボールがOBライン近くに止まった場合、OBかセーフか判断に疑義がある場合は同伴者の確認を得てください。この確認を得ないでプレイした場合は、OBのペナルティと、OB区域からプレイしたということで付加「4」が加算されます。プレイは当該ボールの止まった位置からプレイ再開となります。(打ち直しではない)
- ・ 動かせる障害物は、ペナルティなしで取り除くことができますが、石、木の葉、動物の糞、虫、刈り取られた草のような堆積物などの地面に固定していない自然物、バンカーならし、空き缶、縄切れなどです。
- ・ 動かさない障害物は、コースに設置してあるもので、樹木の支注、バンカーならしの支柱、金網、排水溝の蓋、OB杭や花壇の柵などです。動かさない障害物の中、上にボールがある又は接近して

いるために打てない場合は「アンプレヤブル」を宣言して2打付加してプレイを続行してください。

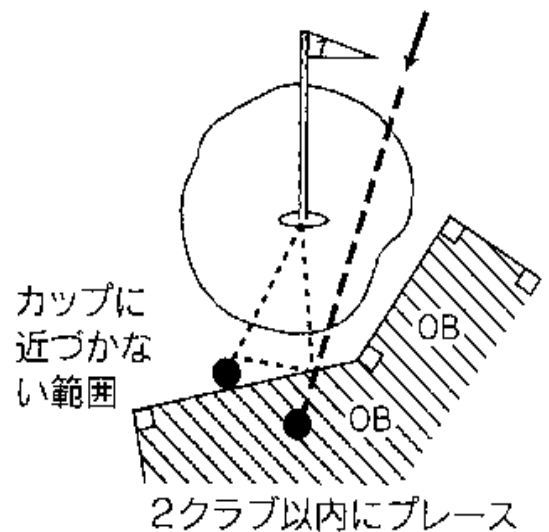
- ・ネットにボールがくっついてしまったが、ボールをネット裏から打った場合は、2打を付加しボールの止まった位置からプレイ続行となります。OB 杭も動かさない障害物ですが、抜いて打った場合も2打を付加し、ボールが止まった位置からプレイを続行します。(打ち直しではありません)
- ・OB になったボールが見つからない(紛失)場合は、OB とロスト(紛失)のペナルティは重複しません。OB になった時点でプレイは中断していますので、紛失はペナルティとなりません。



フェアウェイでのOBの処理



グリーンまわりでのOBの処理



※ OBでボールを取りに行く場合、入ったと思われる場所にクラブを置いて取りに行きましょう。

OB の処置について

IPGA 公式ルールブックより抜粋

マナー&エチケット

パークゴルフは審判のいないゲーム(スポーツ)です。ケガをしない、させない、迷惑をかけないために、エチケット及びマナーはたいへんに重要です。

エチケット及びマナーが悪いといっても、ほとんどの場合罰則を受けません。

罰則を受けないから軽いものだけということではありません。

基本的にそれぐらいのことは、人間的に、あるいはパークゴルファーとしてあたりまえのことだからです。

パークゴルフの場合ゴルフとは違い、簡単にコースでプレイをすることができるので、その部分がおろそかになっていることが数多くあります。当然、初めてパークゴルフ始める人はマナー、エチケットもわかりません。

IPGA ルールブックの中に「第 1」パークゴルフの基礎知識の4にエチケット・マナーの項目が書かれています。

「パークゴルフのプレイヤーはプレイ中かそうでないかを問わず、その時その場面において、そうすべき(でない)決まり[エチケット]を守り、礼儀[マナー]に欠ける態度を慎まなければならない。」これが、パークゴルフのエチケット、マナーの総則であると書いてあります。しかし、初心者の方に話を聞くと、何が良いエチケットで、どういうことをマナーが悪いというのかわからないという人が圧倒的でした。また、最近の風潮として 3 世代のファミリースポーツだから「エチケット、マナーはうるさく言うな」という傾向にあるような気がしますが、それは違うのではないかと思います。必要以上の神経質な注意。アドバイス等での強要はまずいですが、それぞれがエチケット・マナーを、守ることで、楽しい気持ちでパークライフを楽しむことができるのではないかと思います。記載した文章の中に重複する部分がありますが、以下の 3 項目に集約されると思います。

1、安全確認

人及び自分がケガをしないようにするには、どうしたら良いかということです。クラブを振る傍に立ってはいないか、ボールが飛んで行く方向は安全かを確認するという事です。当然、自分自身もそういうところに立ってはいけません。

- ・ 自分がティショットをしたら、次の人がティアップして今打とうとしているのにティグラウンドより前方に出ている、あるいは歩いている人が多く見られますが、たいへん危険ですので止めましょう。
- ・ ドックレッグや、絶対に前の組にボールが届かないホール以外は前の組がホールアウト(プレイ終了)するまで打たない。
- ・ もし、間違っ打って危ないと思った場合は大きい声で「フォアー」といって知らせましょう。

2、心配り

一緒に回っている人、前の組、後ろの組、パークゴルフをしているすべての人に迷惑をかけないということです。この心配りが一番トラブルあるいは一緒にプレイしても楽しくない原因になります。

具体的に説明していきますと1例ですが……

- ・挨拶をしましょう。(ものの始まりは礼に始まり礼で終わる)
- ・ボールを打とうとしている人の気が散るような行動はとらない。(話はしない、動かない、前後に立たない等)
- ・プレイ終了後は次の組がスタートできるように合図をして速やかにコースを離れます。スコアカードの記入は、グリーン上で記入しないで次のティグラウンドで記入しましょう。
- ・良いプレイが出た場合は、「ナイスプレー」等の声をかけてあげましょう。
- ・相手のカップインするラインを踏まない。横切らない。また、秋のパークゴルフでは影が長くなりますが自分の影がパターをする人の邪魔にならないようにしましょう。
- ・プレイは遅滞なく、ホールを空けないように回しましょう。ボールを捜している場合は、次の組にパスをしてあげましょう。
- ・タバコの喫煙場所は、指定された場所で喫煙しましょう。くわえタバコでのプレイは論外です。飴の包み紙、タバコの吸殻等はコース内に捨ててはいけません。キッチンと指定されたごみ箱等に捨てましょう。
- ・2打目以降のボールはカップから遠い順に打ちましょう。
- ・服装は軽快でスポーティな物を着用し、周りの人に不快感を与える、たとえば前掛けをしてプレイをする。頬かぶりをしてプレイするなど避けましょう。(10年近い前は農作業で日焼けしないために頬かぶりをして作業をしますが、その格好でコースに出る人がたくさんいました。)
- ・4人以下でのプレイをしましょう。5人以上ですとコースの流れが悪くなり周りに迷惑をかけます。
- ・自分たちの持ち込み荷物は、イス、テーブルに置かないようにしましょう。(場所取りはやめましょう。)
- ・競技大会への参加では、受付時間の厳守、開会式、閉会式へは必ず出なければなりません。競技大会は、プレイ終了後アテストをしてスコアカードを提出したら終わりだと思っていないか？開会式、閉会式に出ることは義務です。この閉会式の終了で競技大会が終了したことになります。
- ・備え付けのティは使い終わったら次の人のために、元に戻しましょう。

3、保護

- ・芝生や樹木、花壇などコース内外の自然物、ネット、支柱などの人工物の保護、保全に気配りをしましょう。
- ・かかとのある靴でのプレイは出来ません。ゴム長靴でのプレイも止めましょう。パークゴルフに適した運動靴等でプレイをしましょう。(芝をいためないために！)
- ・パークゴルフでは、ピンスパイクのゴルフシューズの使用は禁止になっています(ゴルフシューズでも、ソフトスパイク、スパイクレスシューズはOK)
- ・バンカーから出る際は凹凸や足跡を入念に直してから出ましょう。(自分のボールが・・・と考えて下さい)
- ・芝刈りやコース整備中ではプレイの制限があります。指示に従ってプレイしましょう。料金を払っているのだからプレイヤーが優先と思っていないか？ときおり、そのような人が見受けられますが間違いです。

最近目に付くマナーの悪さ

パークゴルフは個人競技といえ集団プレイの中での協調性が必要であり、最低限のルール・マナーが必要であると思います。それぞれが、好き勝手にプレイや行動をし、相手のことを思いやらず嫌な気持ちになる場合があります。

「楽しくなければパークゴルフじゃない」「楽しいパークライフを！」と考えていますがこのように、ごく一部で利己主義の考え方、行動の人が見られます。

気がついた事を列記しますのでお互いに注意しあいましょう。

1、休憩所のテーブル、椅子に自分の荷物を置き場所取りはしないこと。

皆が交代で休憩、食事をする所であり、**荷物を置く場所ではありません**。かなり、コース側も置き場所の設置をしてくれてはいますが、利用者の意識改革が必要です。以前、地方のコースに出かけたときの事です。その日は非常に暑い日でした。我々は20名くらいで行ったのですが荷物は木陰に敷物を引きその上に弁当等の荷物を置いてプレイをしていました。まもなく、14~15名のメンバーがやってきて、1個所しかない休憩所のベンチ、テーブルに荷物を置いてラウンドをはじめました。昼時になり我々が食事をするために休憩所に戻ったのですが荷物がベンチを占領しているので荷物を奥にチョットずらしチョコンと腰を浅くベンチに乗っけて食事をしていました。まもなく、荷物をベンチに置いていったメンバーが食事に戻ってきました。すると、「我々が、荷物を置いて場所を取っているのに非常識だ」と怒鳴るわけです。よく考えて下さい。どちらが非常識でしょう。コース側にもお願い致します。荷物を置く場所の無いところはずいぶん作ってください。我々利用者側は、荷物は専用置場所に置き、テーブル、椅子には荷物は置かないようにしましょう。



荷物は椅子には置かないようにしましょう

2、開会式、閉会式もきちんと出て初めて競技大会に参加したということです。

36HR ストロークプレイの大会で、その36HRをプレイしスコアカードを提出したら、競技大会は終わりだと思っている人はいませんか？これは、間違いです。プレイ終了後、閉会式には出ずビールを飲んで閉会式に出てこない人もいますが、ルール、マナーを守って楽しくプレイできたのに・・・これではダメです。閉会式に出ることは参加者の義務です。これらのすべてが終了した時点で大会終了となります。参加者には権利と義務があります。参加申し込みをした時点で参加する権利を得ることができます。入賞したら賞品を頂く権利があります。義務としては、開会式に出て競技説明を受けて守らなければなりません。閉会式に出なければなりません。私どもの北海道フレンドリーの大会も、初めは閉会式に出ないものもいましたが、何回か呼びかけをすることにより、最近は全員が出席し閉会式ができるようになりました。もし、閉会式が始まるのに出ない雰囲気の人がいたら皆で呼びかけ全員で閉会式ができるようにしましょう。

3、自分の車を運転して帰宅する人は、絶対に飲酒はしないこと！

暑い日のプレイ後に冷えたビールを飲むのは最高です。しかし、自分の車でコースに行っている時は我慢です。飲酒これは、マナーではありません。犯罪になります。どうしても、飲みたい人は「ノンアルコール・ビール」を持っていきましょう。自販機等を置いてビールを販売しているコースの管理者の方も、「ノンアルコール・ビール」を置くことを考慮ください。もし、飲酒をして帰宅時に事故などを起こしたら最悪です。以前、ゴルフ場での飲酒が多いということでパトカーがゴルフ場の近くに張り込むことが多いときがありました。パークゴルファーの場合は、ゴルファーよりは飲酒される方は少ないようですが、絶対に飲酒運転をすることの無いようにしましょう。

4、コース利用で、割り込み、空いているコースを探してのジグザグプレイは止めましょう。

よっぽど空いていて数人しかプレイしていないコースなら別ですが、道央圏のコースのようにほとんどのコースが埋まっているのに途中のコース(例 1~4 番ホールを飛ばして空いている 5 番ホールからプレイする等)から、プレイはしないこと。また、空いているコースばかりをジグザグにプレイはしないで下さい。18HR の場合は、A,B の 2 箇所から。36HR の場合は A,B,C,D の 4 箇所の 1 番 HR からプレイして下さい。空いているからそのコースを回ると言うことが合理的だと考えていませんか？大きな間違いです。そういうプレイをしている人に限って自分たちのパーティの前で割り込み等をされるとトラブルを起こします。楽しくパークゴルフを楽しむにはお互いに「思いやり」の気持ちが大切です。相手がどう思うかを考えて行動してください。

5、競技大会においては、プレイヤーだけではなく、ギャラリーにもマナーが必要です。

パークゴルフ大会においてもゴルフ大会の決勝ラウンドの最終ホールを上がってくる時にギャラリーが迎えてくれるような形態になっている大会もあります。また、プレイオフなどのときもギャラリーがプレイコースを取り囲み応援します。しかし、ゴルフ大会とパークゴルフ大会で決定的に違うのはギャラリーのマナーの違いです。ゴルフの場合はプレイヤーと一体となった応援にみえます。プレイヤーが、プレイスタンスに入ったら静かにするし、動くこともしません。しかし、パークゴルフ大会の場合は、自分に関係のあるプレイヤーには一生懸命応援するが、関係の無いプレイヤーの時には大声でおしゃべりをする、移動する、走り回るなどマナーの悪さが目につきます。自分がプレイしているときにどういう応援をして欲しいか考えたときおのずと理想の応援スタイルは解かると思います。皆で注意しましょう。



「ひとめで分かるルール早見表」(平成13年 IPGA ルールブックより)

1. ボールを動かす

ア ク シ ョ ン	ペナルティ なし	2 ペナルティ	次 打		備 考
			元位置	位置 止まった	
動かせる障害物を取り除こうとした時、ボールが動いた	●		●		
ボールの近くで素振りしていた時、誤ってクラブがボールに当たりボールが動いた	●			●	1 ストロークとして処理する
アドレスしたら動いた (1 打目)	●				テИАップして打ち直し
アドレス(2 打目以降)したら風等によって動いた	●			●	1 ストロークとして数えない
アドレス(2 打目以降)後クラブにボールが触れてボールが動いた	●			●	1 ストロークとして処理する
プレイ中のボールのライが悪かったので良いライに移してボールを打った		●		●	ペナルティを付加
マークが出来ない所だがボールに泥がついたのでボールを拭いて打った		●		●	ペナルティを付加

2. ボールを打つ前後の問題

ア ク シ ョ ン	ペナルティ なし	2 ペナルティ	次 打		備 考
			元位置	位置 止まった	
1 ホール中に練習ストロークをした					競技失格
ティーグラウンドの区域外から打った		●		●	ペナルティを付加
プレイの順番を間違った	●				マナーを守ること
方向を決めるために目印を置いて打った		●		●	ペナルティを付加
ルールに従って拾い上げたボールについた泥を拭き取った	●				OB・アンプレヤブル・カジュアルウオーター・マークしたボール等
スイングの邪魔になるので木の枝を折って打った		●		●	ペナルティを付加
動いているボールを打った		●		●	ペナルティを付加
ボールの後方を踏みつけて打ちやすくした		●		●	ペナルティを付加
バンカーならしを取り除こうとしたらボールが動いた	●		●		
1 ホール中にボールが傷ついたので誰にも断らず取り替えた		●	●		ペナルティを付加 同伴者の同意が必要
2 度打ちをした		●		●	ペナルティを付加
2 度打ち以外の不正打ち(ネットの裏から打った場合を含む)		●		●	ペナルティを付加

3. ボールをあてる

ア ク シ ョ ン	ペナルティ なし	2 ペナルティ	次 打		備 考
			元位置	位置 止まった	
誤球のプレイをした		●			ペナルティを付加
ボールを局外車によって止められ方向を変えられた	●			●	
ボールを自分の身体、持ち物に当ててしまった		●		●	ペナルティを付加
自分のボールを同伴者のボールに当ててしまった	●			●	同伴者のボールを元の位置に戻します

4. カップ周辺の問題・その他

ア ク シ ョ ン	ペナルティ なし	2 ペナルティ	次 打		備 考
			元位置	位置 止まった	
クラブでパッティングラインを押さえつけてライの改善をした		●			ペナルティを付加
マークを間違えてストロークした		●		●	ペナルティを付加
アドレス後パットしようとしたら風などによってボールが動いた	●			●	ストロークに数えない
ボールをキツネが持ち去った	●		●		持ち去られたと思われる場所から
アンプレヤブル宣言をした		●			ペナルティを付加、原則 2 クラブ以内にプレース